

最新

お役立ち情報

～鹿児島県農業で活用いただきたい新品種・新技術～



これまで、これからも
農家の皆様と二人三脚

～産地の直面する課題の解決等に取り組む試験研究～

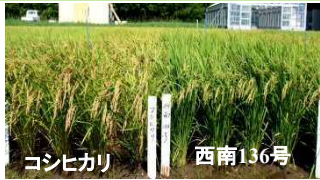
鹿児島県農業開発総合センター

農業開発総合センター

検索



高温登熟性に優れる早期水稲「西南136号」



登熟温度30℃処理でも、白濁が少ない「西南136号」

特性

- 高温登熟性に優れ、高品質
- 良食味(低タンパク含有率)
- コシヒカリに比べて、粒が大きく、2割多収、収穫は10日遅い

栽培のポイント

- ◇ いもち病発生に注意
- ◇ 早期落水しない

適応地域

- 早期栽培地帯

早生でおいしい実エンドウ「まめこぞう」



特性

- 早期多収で良食味
- 莢が大きく青実が綺麗

栽培のポイント

- ◇ スーパーグリーンより早期肥大
- ◇ 収穫遅れに注意



適応地域

- 無霜地帯:10月上まき 11~3月どり
- 準無霜地帯:10月下まき 3・4月どり

かごしまブランドを育む技術開発

本県歴代最高の脂肪交雑成績「秀幸福」号



ひでさちふく
「秀幸福」

【血統】
金幸福-百合茂-谷照
【年齢】
5歳(H21.10.19生)



産子の枝肉状況
(BMS No.11)

特徴

- 脂肪交雑の育種価が本県1位(H27.5)
 - 枝肉のロース芯も大きく、歩留りも高い
- 交配対象(雌牛の父)
- 華春福, 勝忠平, 安福久, 安糸福, 隆之國など

半履帯トラクタを活用した水田耕盤修復

◇ 排水対策(耕盤破碎)作業:



野菜作付前(弾丸暗きよ、プランイラ等)

技術ポイント

- ◇ 野菜作付前→排水対策(弾丸暗きよ等)
- ◇ 水稲作付前→耕盤修復

効果

- 修復後、耕盤の凸凹が少ない
- 田植え機:走行安定・効率化

◇ 耕盤修復作業:



① 入水前
鎮圧作業
(ローラ)



② 入水
→早い水の
拡散

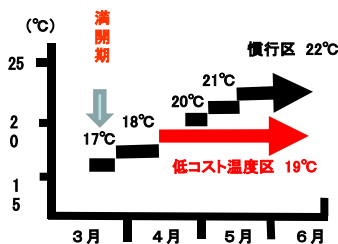


③ 代かき
→迅速な
目詰め

(システム化研・実証事業)

収益力の高い農業経営の実現に向けた技術開発

加温「大将季」の低コスト温度管理



技術ポイント

- ◇ 満開期以降の最低温度を19℃まで昇温し、その後は、19℃を維持(左図)(慣行より3℃低温)

効果

- 収量を維持したコスト削減
- 11月下旬収穫, 12月上旬出荷
- 重油消費量を1~2割削減

試験区	重油消費量(L/10a)	削減率(%)
低コスト温度区	6,529	17
慣行区	7,893	-

さつまいも由来副産物の飼料利用



技術ポイント

- ◇ さつまいも由来副産物(さつまいも茎葉, でんぷん粕, 焼酎粕)を混合した飼料は、乳牛への粗飼料の代替が可能

効果

- 低・未利用資源の活用による飼料コスト低減, 飼料自給率の向上

春季の高温を活かす春まきソバ「春のいぶき」



志布志市が「夏越しそば」をPR

技術ポイント

- ◇ 本県初の春まきソバ品種
- ◇ 3月下旬～4月上旬の播種で、6月上旬までに収穫可能
- ◇ 夏の需要期に、風味ある新ソバを供給

適応地域

- 晩霜(3月下旬以降)の危険性が低い、志布志市等温暖地域

(農・食推進事業)

新しい熱源を用いた茶殺青機『炒蒸機(いりむしき)』



新しい茶殺青機「炒蒸機」



新香味茶「姜潤香緑茶」

技術ポイント

- ◇ 高熱量の熱源として過熱水蒸気を付加し、品質を安定化
- ◇ 過熱水蒸気と加湿熱風の使い分けにより、多様な茶種へ対応可能

効果

- 煎茶や釜炒り茶など多様な茶種を安定的に大量生産が可能
- 煎茶とは異なる香味による新たな需要喚起に期待

(農・食推進事業)

新しい需要を切り拓き付加価値を高める技術開発

露地作物における IPM



背景

- ・ 化学農業に過度に頼ることなく、様々な防除技術を組み合わせ、病虫害や雑草の発生を抑える技術が必要

活用法(露地栽培オクラの事例)

- 選択的殺虫剤(ワタアブラムシ、チョウ目害虫対象)利用で、土着天敵を保護し、虫害を抑制
- ソルゴーを植栽し、オクラの害虫とならないヒエノアブラムシがソルゴーに発生すると、これを餌にアブラムシ類の土着天敵が温存され、虫害抑制効果を発揮

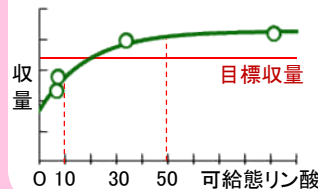
(農・食推進事業)

土壌診断でリン酸肥料の節約



技術ポイント

- ◇ 野菜畑では、土壌のリン酸が増加
- ◇ 目標収量確保のため、土壌のリン酸レベルに応じたリン酸施肥基準を作成(下表)



可給態リン酸 (mg/100g)	リン酸施肥基準
～10	→ まず土づくりから
10～30	→ 標準施肥
30～50	→ 半量施肥
50～	→ 無リン酸

(経済連委託)

安心・安全で環境にやさしい農業生産を支える技術開発

脱臭化メチル栽培マニュアル

鹿児島県の促成栽培ピーマン産地のための脱臭化メチル栽培マニュアル



背景

- ・ ピーマンのPMMoV対策の臭化メチル剤は、平成24年末で全廃
- ・ 臭化メチル代替策が急務

技術ポイント

- ◇ ウイルス汚染程度に応じた対策
 - ① 栽培終了時の積極的な残渣腐熟処理
 - ② 定植時に根の傷からのウイルス伝染を防止するため、生分解性ポットを利用
 - ③ 弱毒ウイルス製剤を接種した苗利用

効果

- ウイルス汚染度合に応じて①～③を組合せ、生産量を確保

(農・食推進事業)

茶農薬散布量を大幅削減! かごしま式防除装置

技術ポイント

- ◇ 微粒子化した農薬の噴霧と送風を組合せ、少量の農薬で茶新芽の病虫害を防除
- ◇ 農薬散布量を削減し、天敵への悪影響を抑制

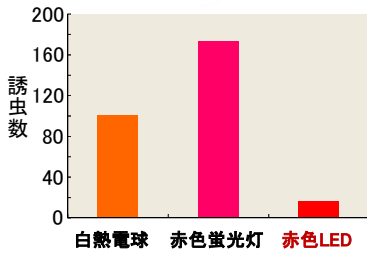


かごしま式防除装置

効果

- 茶の農薬散布量を従来比約1/2～1/3以下へ削減
- 農薬経費や散布労力等を大幅に削減
- 天敵と共存した茶の生産体系を構築

虫が集まりにくい赤色LED



3種類の光源と誘虫数の比較

背景

- ◇キクの電照栽培は白熱電球が中心
- ◇省エネを目的に、蛍光灯、LEDへ移行中

効果

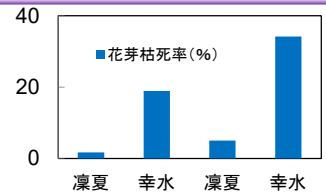
- 赤色LEDは虫が集まりにくい光源 (花き部調査、検証)

(委託プロ)

盆前に収穫できるおいしいナシ「凜夏」



果実の比較



短果枝 えき花芽
花芽の枯死率の比較

特性

- 盆前の高単価期に収穫
- 発芽不良が少なく、安定・高収量
- 「幸水」より大玉で、糖度は同程度に高く、良食味

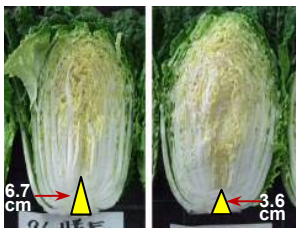
活用法

- ナシ栽培地域における早生品種として活用

(農研機構・果樹研育成)

生産環境の変化に対応した農業技術の開発

4月下旬～5月上旬 どりハクサイ (直まき・簡易被覆資材利用技術)



収穫時の結球断面 (左:勝春, 右:黄楽70)
2/4播種, 4/30収穫

★とう立ち基準(8.5cm)未満で品質低下し

技術ポイント

- ◇播種は、2月上旬～中旬
- ◇播種直後 から4月上旬まで不織布の直がけで保温
- ◇3粒播種し、間引きを実施
- ◇「勝春」、「黄楽70」が適品種

適応地域

- 志布志湾沿岸及び南薩等の温暖地域 (播種後30日間の日平均気温が10℃を上回る地域)

H26～27年度に育成された新品種(抜粋)

秋スプレーギク「きゅらシューサー」

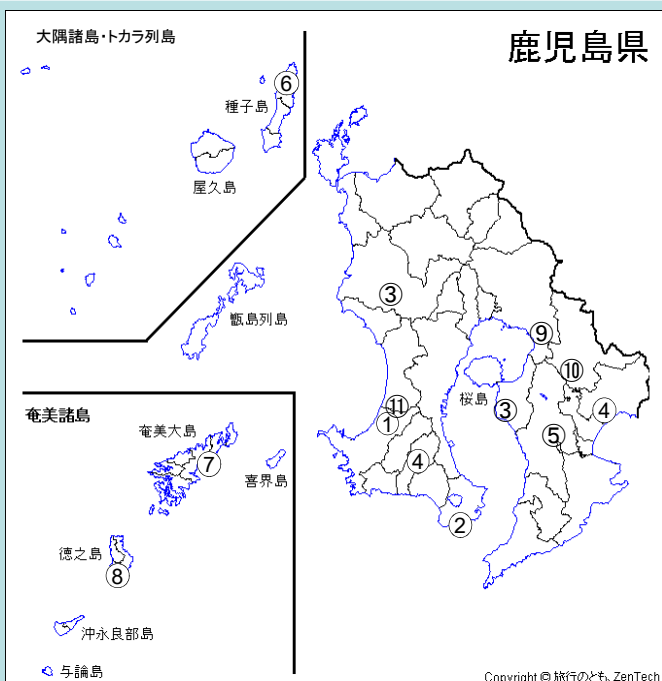
- 奄美地域向けの新品種
- 白系シングルで実需から高評価

夏秋スプレーギク「サザンライク」

- 黄色系スプレーギクの新品種
- 6～9月の安定生産可能(色・開花)
- 春～夏の温度変化に対応

秋輪ギク「立神」(りゅうじん)

- 白色系秋輪ギク新品種
- 神馬2号並の低温管理による省エネ可能
- 新神並の省力性・ポリウム確保



鹿児島県

農業開発総合センター

- | | |
|---|---------------------|
| ① 管理部
企画調整部
園芸作物部
生産環境部
(南さつま市) | ⑤ 大隅支場
(鹿屋市) |
| ② 花き部
(指宿市) | ⑥ 熊毛支場
(西之表市) |
| ③ 果樹部
(垂水市)
果樹部北薩分場
(薩摩川内市) | ⑦ 大島支場
(奄美市) |
| ④ 茶業部
(南九州市)
茶業部大隅分場
(志布志市) | ⑧ 徳之島支場
(大島郡伊仙町) |
| | ⑨ 畜産試験場
(霧島市) |
| | ⑩ 肉用牛改良研究所
(曾於市) |
| | ⑪ 農業大学校
(日置市) |

【お問い合わせ】 農業開発総合センター企画調整部 (TEL 099-245-1118) 最寄りの支庁・地域振興局の普及担当課 (農政普及課など)

平成27年7月7日作成